

2022 SUPER FORMULA Team Report : Round 5

2022.6.20

Round 5 スポーツランド SUGO(3.586km)

「予選が肝」を痛感し、今シーズン折り返しへ

- ・53号車の佐藤蓮、SUGO大会は16位フィニッシュ、今季前半戦は累計5ポイント獲得
- ・55号車の三宅淳詞、SUGOは18位でチェッカー、今シーズン前半戦は18ポイントを獲得

・予選 6月18日: 天候: 晴れ、28℃ 路面: ドライ、44℃
・決勝 6月19日: 天候: 晴れ、30℃ 路面: ドライ、43℃

◆53号車 佐藤 蓮

予選: 11番手(1分05秒535)
決勝: 16位

◆55号車 三宅 淳詞

予選: 21番手(1分05秒736)
決勝: 18位



6月19日(日)、2022年全日本スーパーフォーミュラ選手権ラウンド5、今シーズンの折り返しとなるSUGO大会決勝レースが行われ、TEAM GOHの53号車をドライブする佐藤蓮は16位でフィニッシュ、また、55号車の三宅淳詞は18位でフィニッシュとなりました。



佐藤は富士開幕戦と鈴鹿大会でそれぞれ4ポイントと1ポイント、前半5戦では累計5ポイントを獲得。三宅は開幕富士大会の2戦で合計7ポイント、オートポリス大会で表彰台獲得して11ポイント、ここまで累計18ポイントを手にして、後半戦に挑みます。



◆チーム監督 山本雅史 のコメント

「前回のオートポリスで4戦が終わった時点で、蓮の車の走らせ方、車の特性含めて、彼のドライバビリティに合うクルマ作りでいこうと方針を明確にしました。結果的に方向性は間違っていなかったのですが、FP1の90分のセッションの中で細かく決めきれなかったことも多くあったと思います。それでもQ1を突破し、Q2ではセクター1、2でアグレッシブな走りで驚くべき速さをみせてくれ、最終的にその次のセクター3でコースオフしましたが、僕らに希望をみせてくれました。そして、この方向が間違っていないと、今回のSUGO大会で立証できたことが良かったことです。結果的にレースそのものはコンサパな方向にってしまったことは、監督として反省しています。改めて、レースは攻めなければいけないということを蓮から教えられた気がします。次の富士はきっちり攻め続けるレースをしたいと思います。」



「三宅については、彼のドライバビリティに合わせて持ってきた車の方向性はそんなにずれてはいなかったのですが、予選に向けてのコンディション変化にうまく追従できず、そういった意味で、三宅にセットアップの件では苦勞をかけました。決勝では前に車がいてエアロの問題などもありなかなか攻めきれずにいたと思いますが、三宅自身はとてもドライバビリティの高いクルマに仕上がっていたと言ってくれていて、やはりレースは予選が肝で前にいないといけないな、という話をしました。」

「今日優秀したサツシャ選手も、タイヤ交換の後に三宅の後ろにいてずっと抜くことができなかった。それがここ SUGO の難しさで、当たり前のことですが、レースは予選からリードしていかなければならないと。それが僕自身ルーキーの監督として改めて学んだ大会でした。」



「ドライバーの方向性、マシンに対してどこを求めているのか、チームとしてそこをしっかりと理解をした、前半戦でした。そして新たなトライをしているので、それを近いうちに結果として残せるように、後半戦は早々に巻き返しを図りたいと思います。表彰台にのぼり、また、ルーキードライバーではありますが、優勝も狙っていきたいと考えています。」

◆53号車ドライバー 佐藤蓮 のコメント

「SUGO 大会では、予選 1 回目のアタックでセクター1、2と、非常に良いペースで走れたにもかかわらず、第3セクターでミスをしてしまい、悔しい結果となりました。決勝も、終盤プッシュし続けましたが、やり過ぎてスピンを喫し、16位で終わりました。」

「ここまでの前半戦を振り返ると、開幕戦富士大会の予選はとても良い走りができたのですが、その後ちょっと低迷していました。それが今回SUGO大会



では予選でパフォーマンスが改善できており、1 歩前進した実感がありました。またスタートに関しても、ラウンドを重ねるごとに良くなってきているので、次は開幕戦でフロントローをとれた富士ですから、予選でしっかり前にいき、スタートもきっちり決めて、まずは表彰台を狙っていきたいです。」



◆53号車エンジニア ライアン・ディングルのコメント

「今回はこれまでと違うコンセプトの車を持ち込み、予選までいい感じで仕上がり、予選はけっこう戦うことができたと思います。Q2 に進んでトップと同程度のタイムでセクター1、2を走ることができたのですが、セクター3でリズムを崩してミスがあり、結果は期待した番手に届きませんでした。今日のレースはドライバーがうまくスタートも決められたと思いますが、最初の10周回の中で2回セーフティカーがあり、その時にステイアウトするかボックス(ピットイン)するか検討し、もう1回セーフティカーが出る可能性が高いと思いボックスを選択したのですが、結果的にドライバーとしては自分のペースで走ることができない辛いレースになってしまいました。終盤ニュータイヤ組はかなりペースが速かったのですが、なんとかポイント獲得圏内でフィニッシュしたい気持ちが強く、ドライバーに頑張るようプッシュし過ぎてしまった結果スピンを喫してしまったと思うので、申し訳なかったです。また、今シーズン2回目の作戦の選択ミスということで、今後課題を残しました。」

「次戦は今シーズン2回目の富士です。最初からポテンシャルの高いクルマを持ち込み、予選でできるだけ前にすることで、良いレースにしたいと考えています。」

◆55号車ドライバー 三宅淳詞のコメント

「土曜日朝のFP1であまり良いポジションではなかったのですが、予選に向けてドライビングの仕方とセッティング、両方を見直してQ1に挑みましたが、あまり効果がなく、予選順位は後方に沈んでしまいました。決勝はロングランを見据えてセッティングを変更、とても乗りやすくなり、FP2でも良いパフォーマンスが出せました。ただ、SUGOはとても狭いコースで、前方の車のタービュランスの関係でダウンフォースが抜けてしまうことも多く、順位を上げられませんでした。やはり予選最下位だったことが今回の敗因です。」



「今シーズンの前半戦を振り返ると、オートポリスで表彰台にのることもでき、計5戦で18ポイント獲得できたのですが、やはり、鈴鹿や今回のSUGOなど、波があり過ぎました。次戦の富士は開幕大会に続き2回目

となりますし、もちろん順位は大切なのですが、何よりももう少し安定した結果を出せるように、そしてもっと上位で戦えるように、後半戦さらに頑張っていきたいと思います。」



◆55号車エンジニア 岡島慎太郎 のコメント

「土曜日朝の FP1 であまり良いポジションではなかったのですが、予選に向けてドライビングの仕方とセッティング、両方を見直して Q1 に挑みましたが、あまり効果がなく、予選順位は後方に沈んでしまいました。決勝はロングランを見据えてセッティングを変更、とても乗りやすくなり、FP2 でも良いパフォーマンスが出せました。ただ、SUGO はとても狭いコースで、前方の車のタービュランスの関係でダウンフォースが抜けてしまうことも多く、順位を上げられませんでした。やはり予選最下位だったことが今回の敗因です。」

「今シーズンの前半戦を振り返ると、オートポリスで表彰台にのることもでき、計 5 戦で 18 ポイント獲得できたのですが、やはり、鈴鹿や今回の SUGO など、波があり過ぎました。次戦の富士は開幕大会に続き 2 回目となりますし、もちろん順位は大切なのですが、何よりももう少し安定した結果を出せるように、そしてもっと上位で戦えるように、後半戦さらに頑張っていきたいと思います。」

